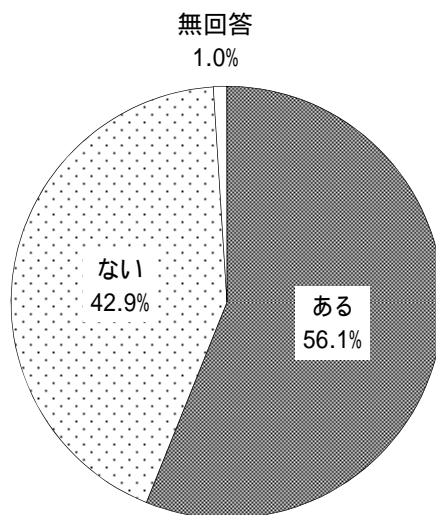


3 国 際 化

(1) 外国への渡航経験

外国への渡航経験の有無は約6:4である

問14 あなたは、外国に行ったことがありますか。(はひとつ)

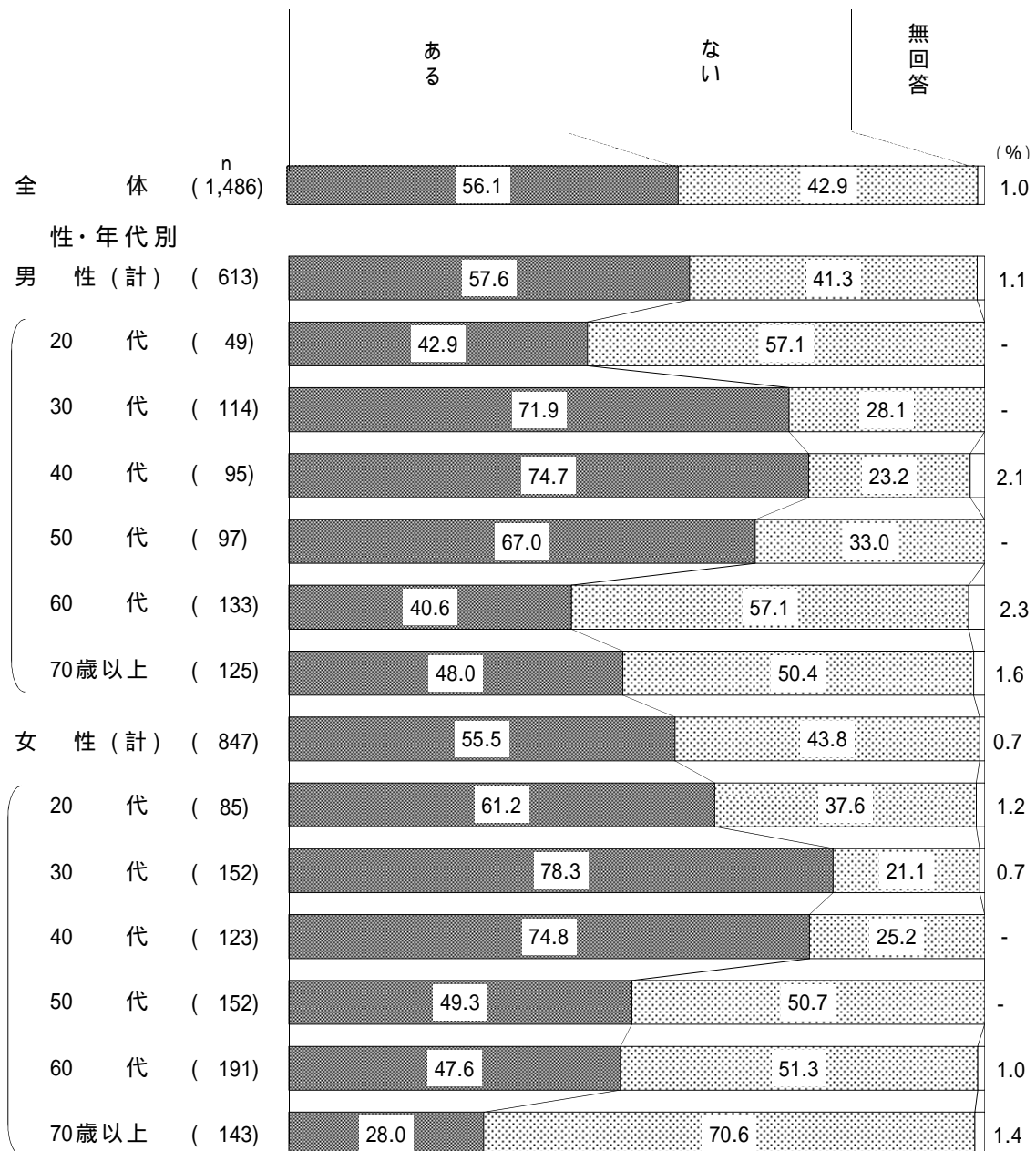


(n = 1,486)

外国への渡航経験の有無は約6 : 4である。

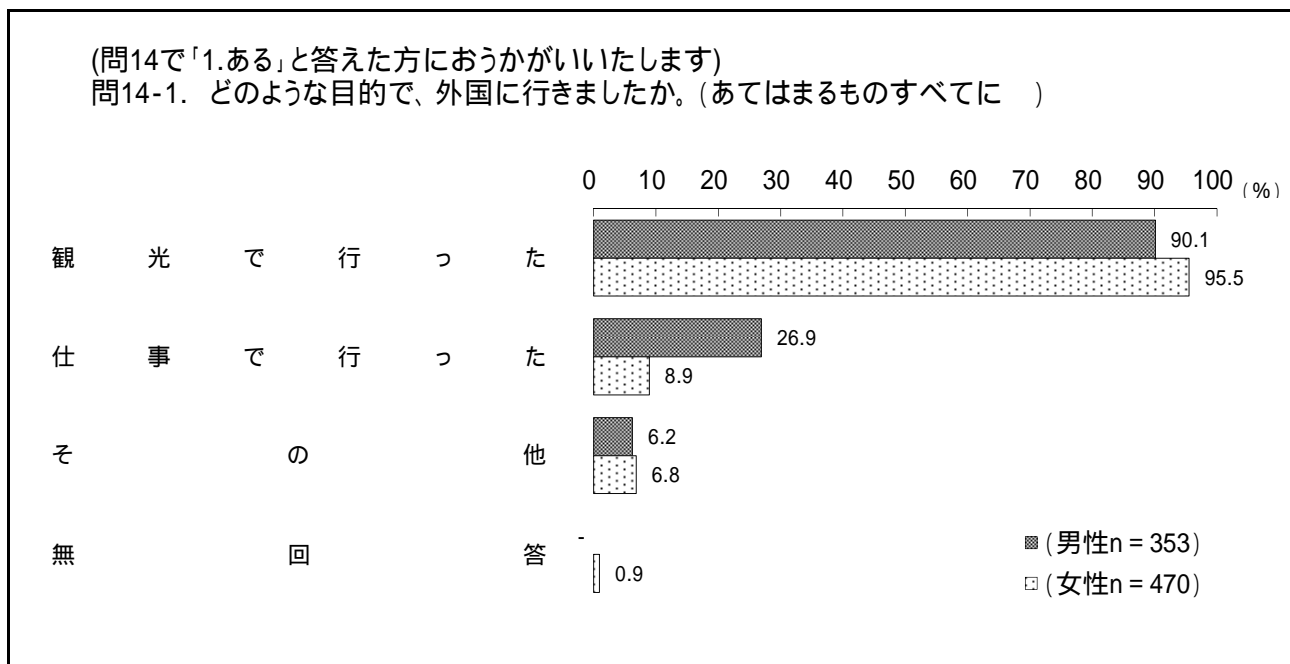
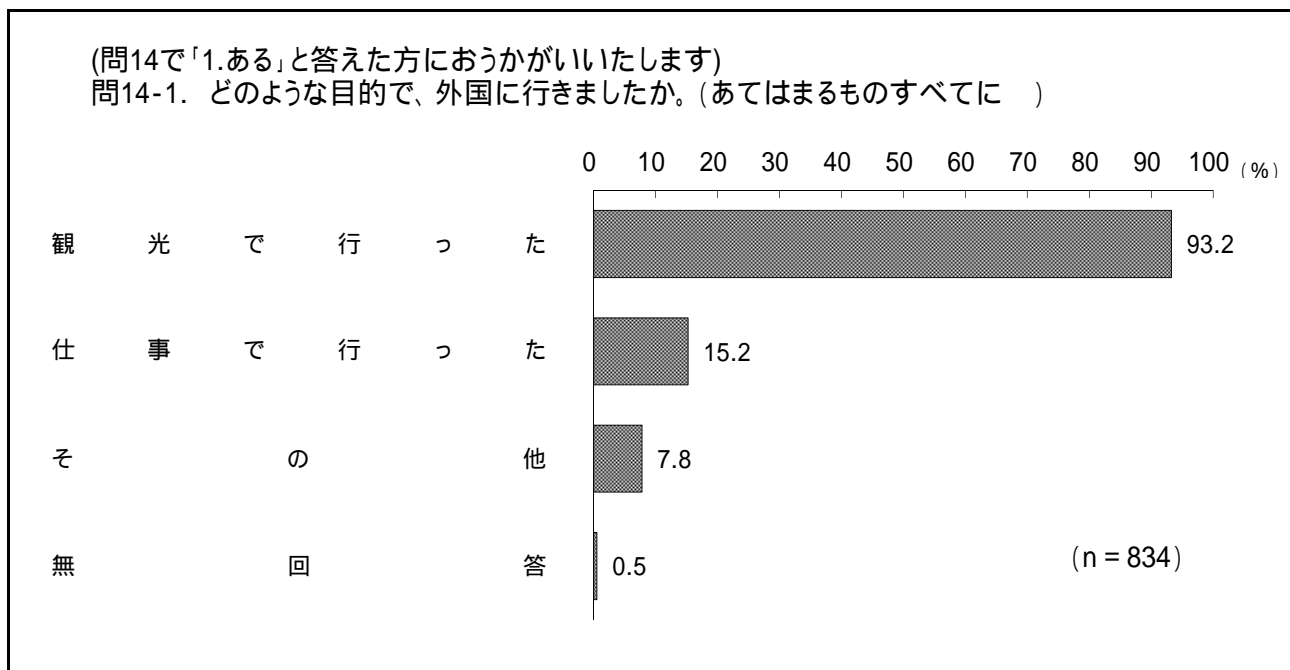
性・年代別でみると図3-1-1のとおりである。外国への渡航経験が70%台で高いのは、女性30代（78.3%）、女性40代（74.8%）、男性40代（74.7%）、男性30代（71.9%）の順である。最も低いのは、唯一20%台で女性70歳以上（28.0%）である。男女間でひらきが大きいのは、20代の男性（42.9%）と女性（61.2%）で18.3ポイントの差がある。また、男性50代（67.0%）と女性（49.3%）でも17.7ポイントの差がみられる。

図3-1-1 外国への渡航経験（性・年代別）



(2) 外国へ行った目的

「観光で行った」が断然多い



「観光で行った」が男女とも断然多いが、女性の方が男性より5.4ポイント多い。

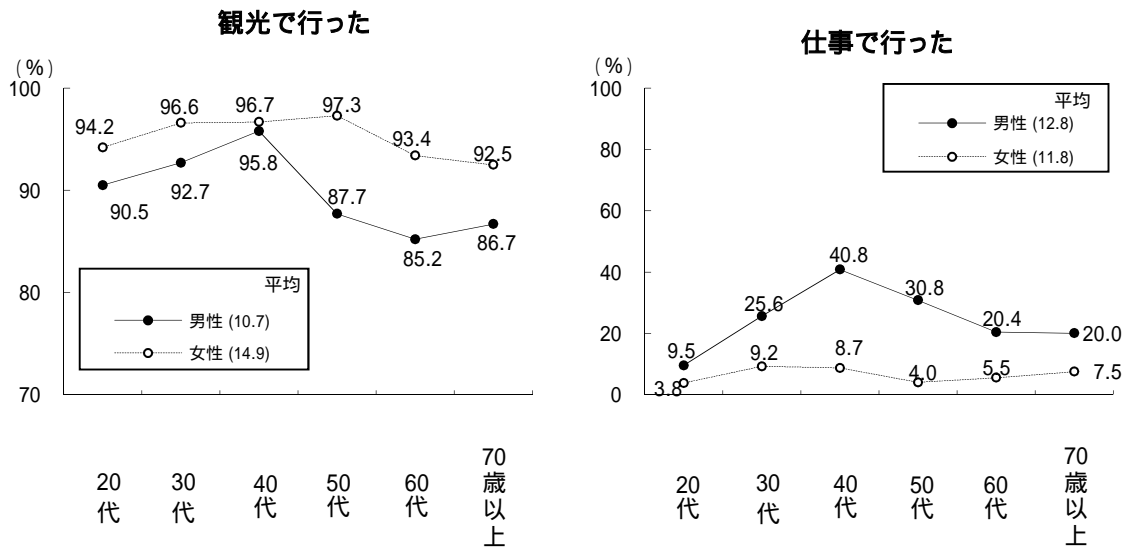
「仕事で行った」は男性の方が女性より20.1ポイント多い。

性・年代別にみると、図3 - 2 - 1のとおりである。

「観光で行った」は女性が全年代とも90%を超えている。

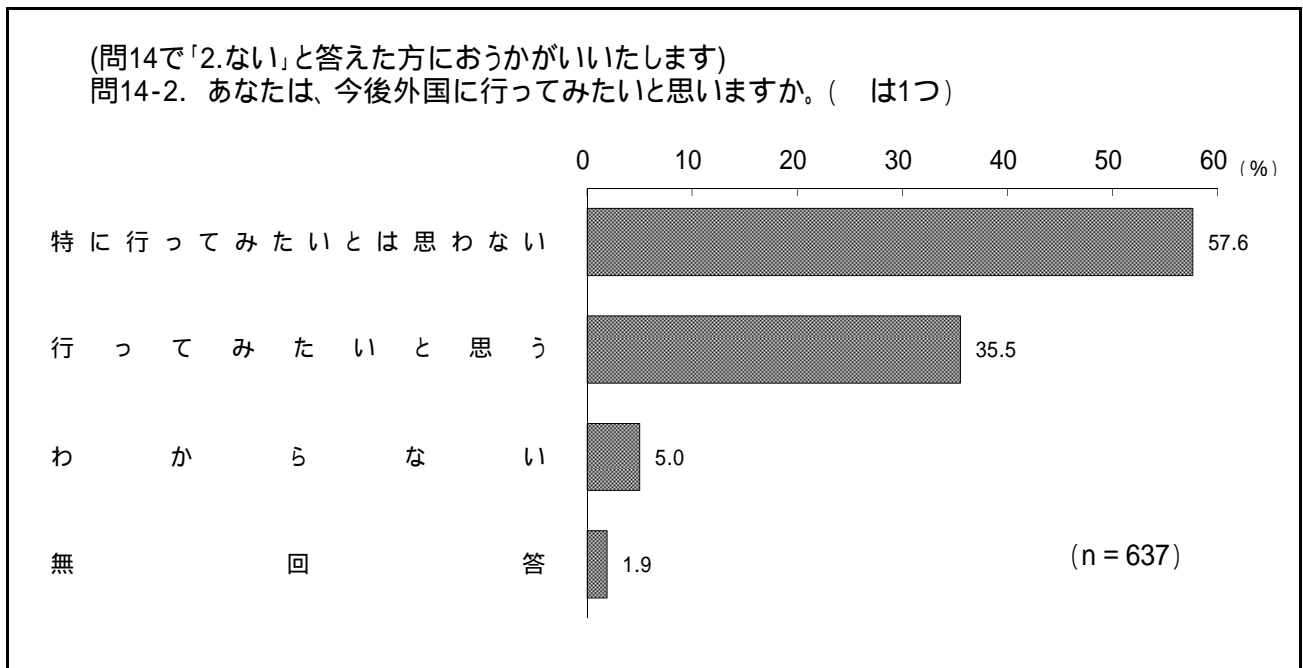
男性は20代～40代までとなっている。「仕事で行った」は唯一40%台で40代男性（40.8%）が最も多い。

図 3 - 2 - 1 外国への渡航目的（性・年代別）



(3) 外国への今後の渡航意向

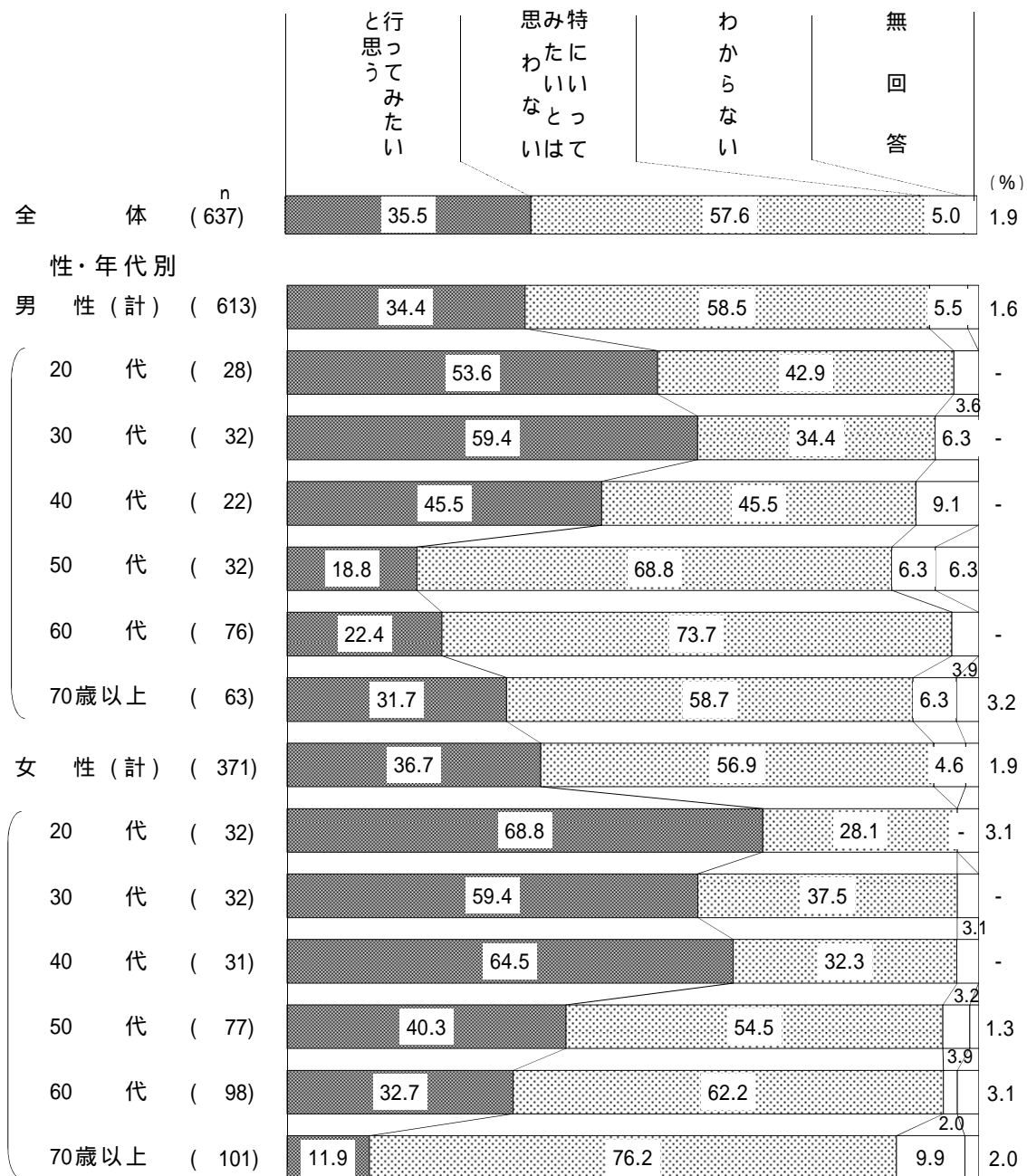
「特に行ってみたいとは思わない」が1/2強を占める



「特に行ってみたいとは思わない」が1/2強を占めている。

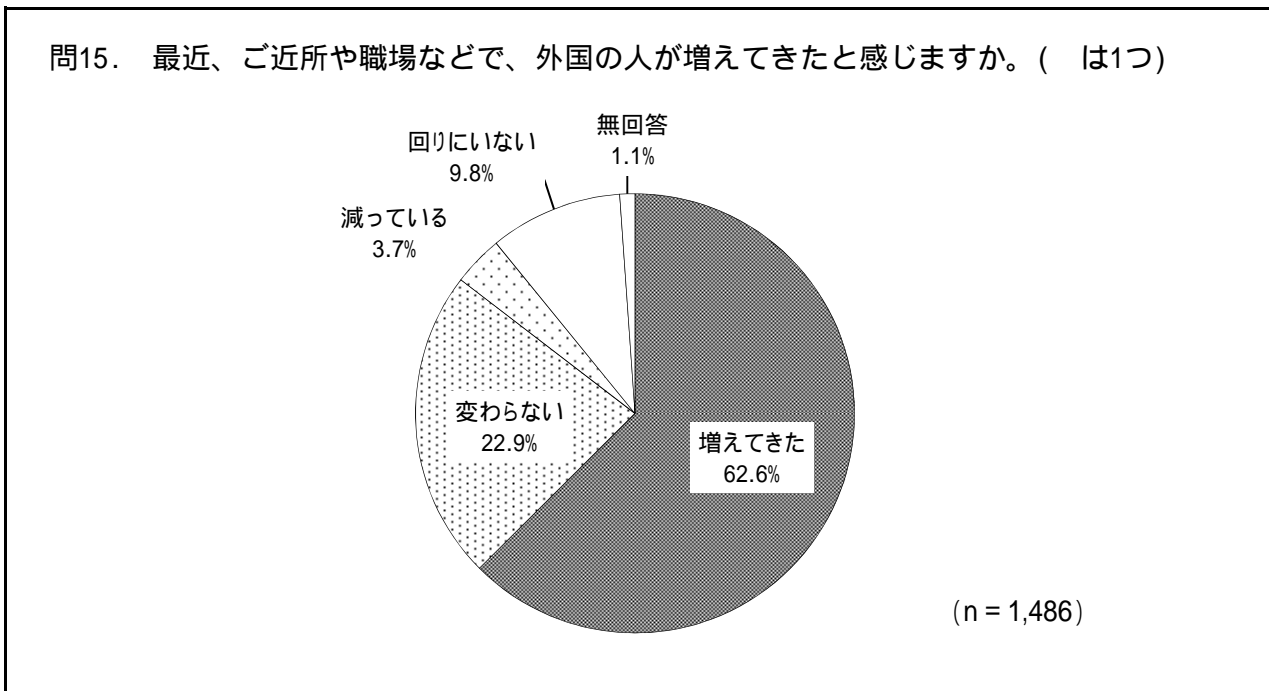
性・年代別にみると図3-3-1のとおりである。「特に行ってみたいとは思わない」では、70%台で男性60代(73.7%)、女性70代(76.2%)が多い。「行ってみたいと思う」は女性20代(68.8%)が最も多く、次いで女性40代(64.5%)の順となっている。

図 3 - 3 - 1 外国への今後の渡航意向 (性・年代別)



(4) 外国人の増加意識

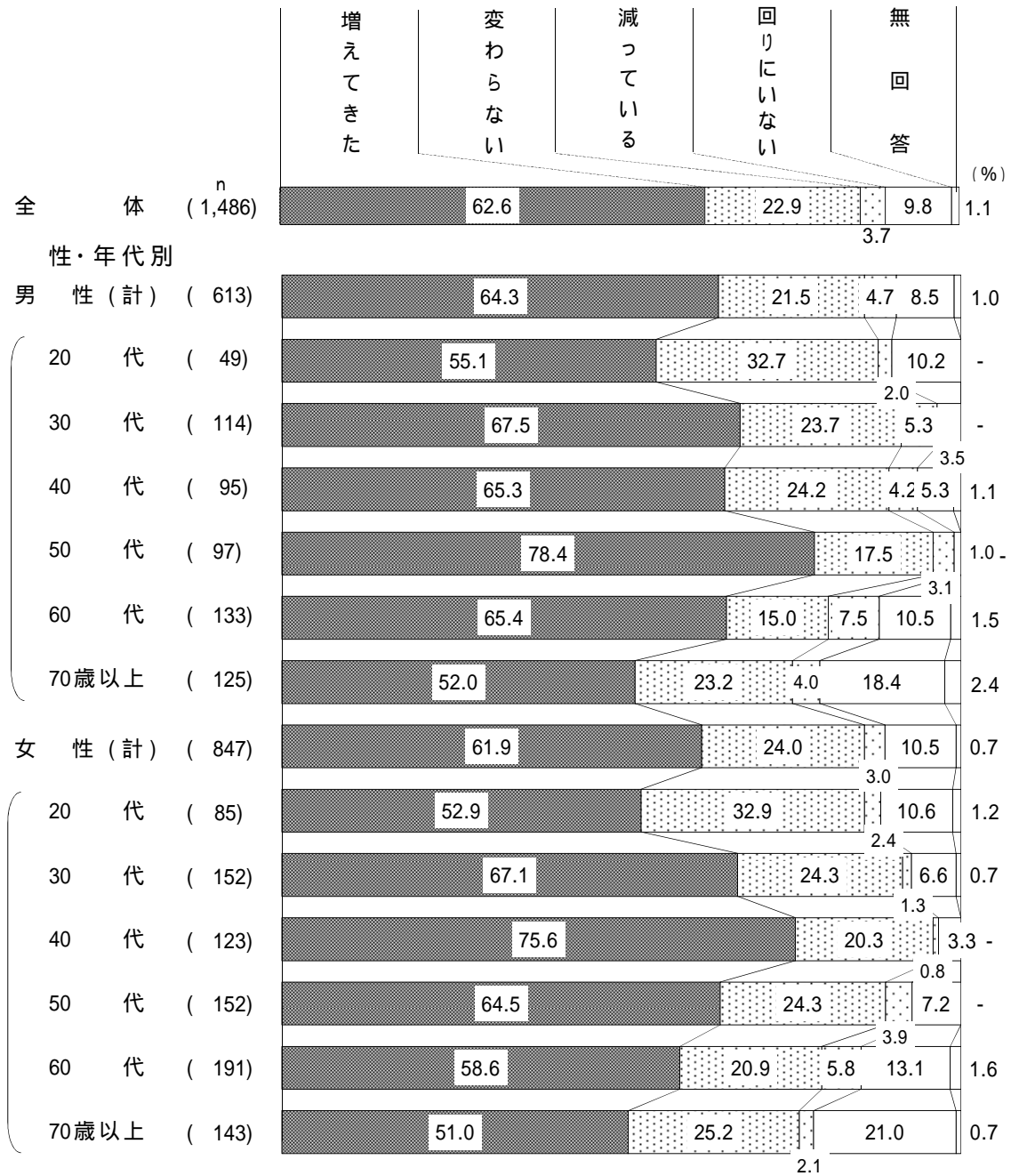
「増加した」が60%を超えている



「増加した」が60%を超えている。

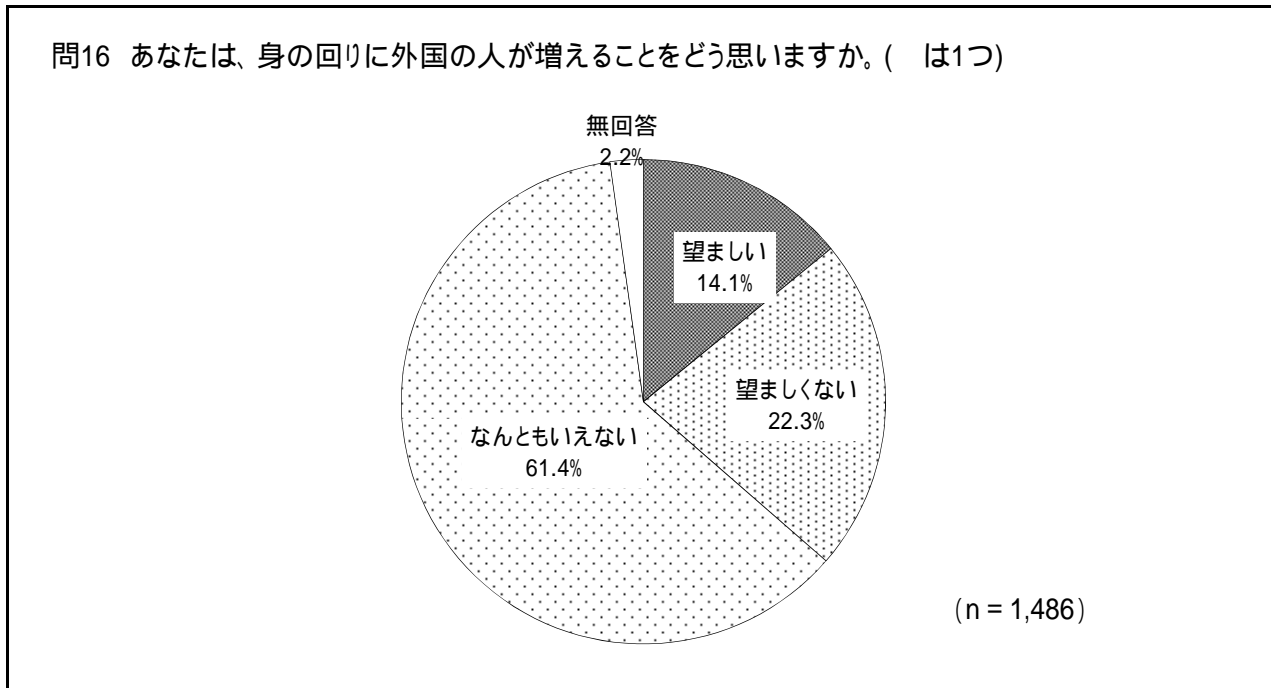
性・年代別でみると図3 - 4 - 1のとおりである。「増えてきた」の印象が強いのは70%台で男性50代（78.4%）、女性40代（75.6%）である。

図 3 - 4 - 1 外国人の増加意識（性・年代別）



(5) 外国人の増加に対する印象

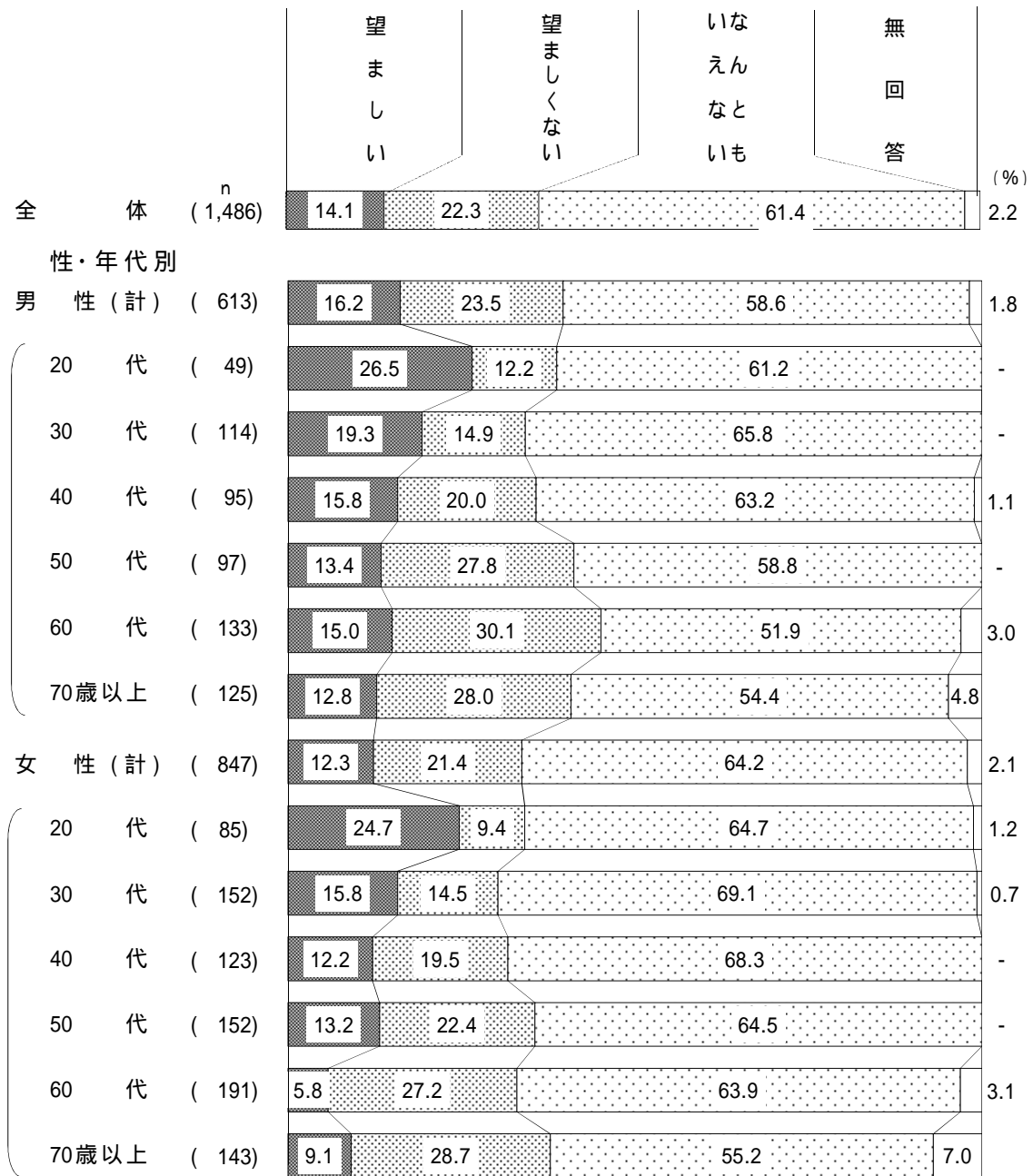
外国人の増加が「望ましい」は14.1%にとどまっている



外国人増加に対して「なんともいえない」が60%強を占めている。「望ましい」が14.1%、「望ましくない」が22.3%で「望ましくない」が8.2ポイント「望ましい」を上まわっている。

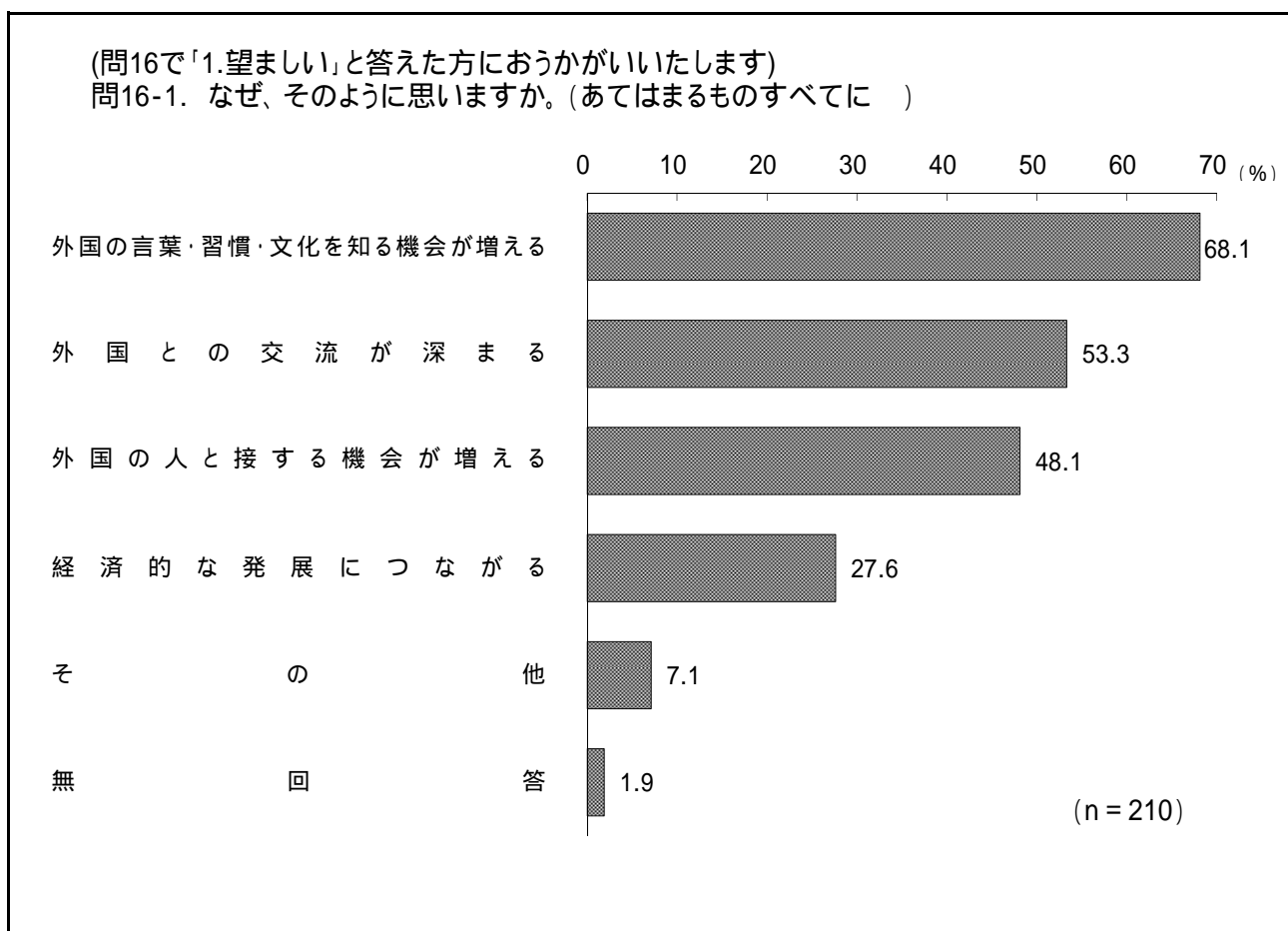
性・年代別をみると図3-5-1のとおりである。「望ましい」が高いのは20%台で男性20代(26.5%)、女性20代(24.7%)である。

図3-5-1 外国人の増加に対する印象(性・年代別)



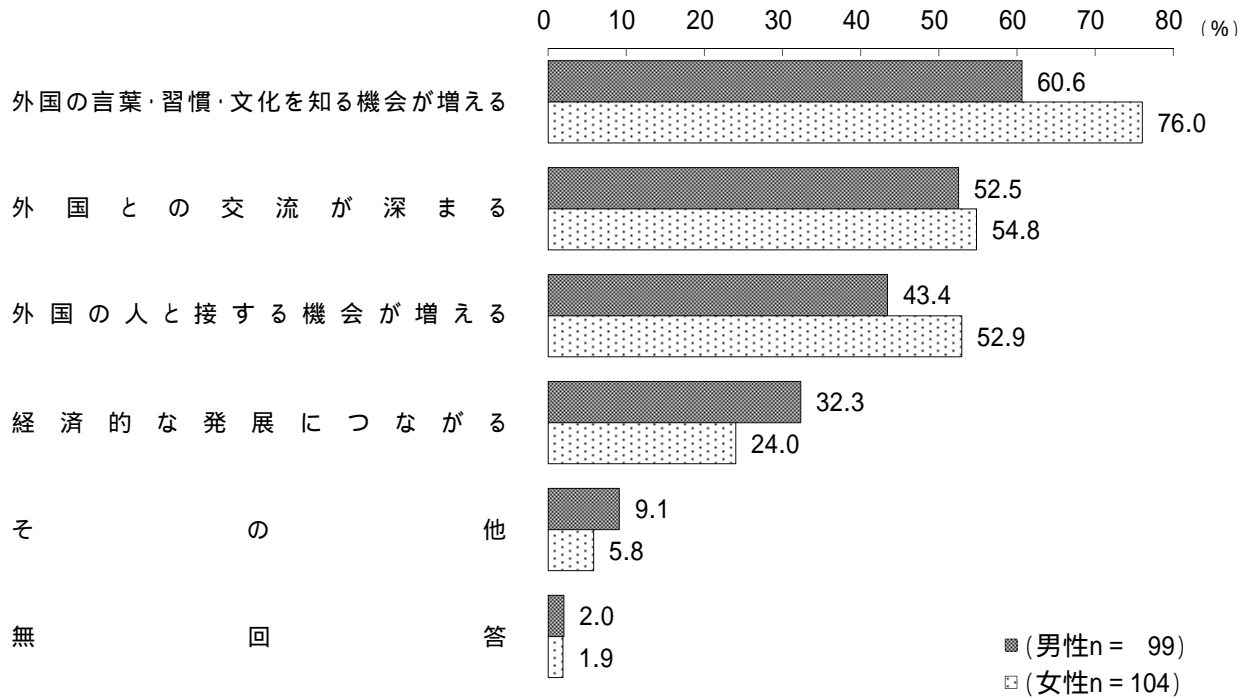
(6) 外国人の増加が望ましい理由について

「外国を知る機会や交流が深まる」が中心となっている



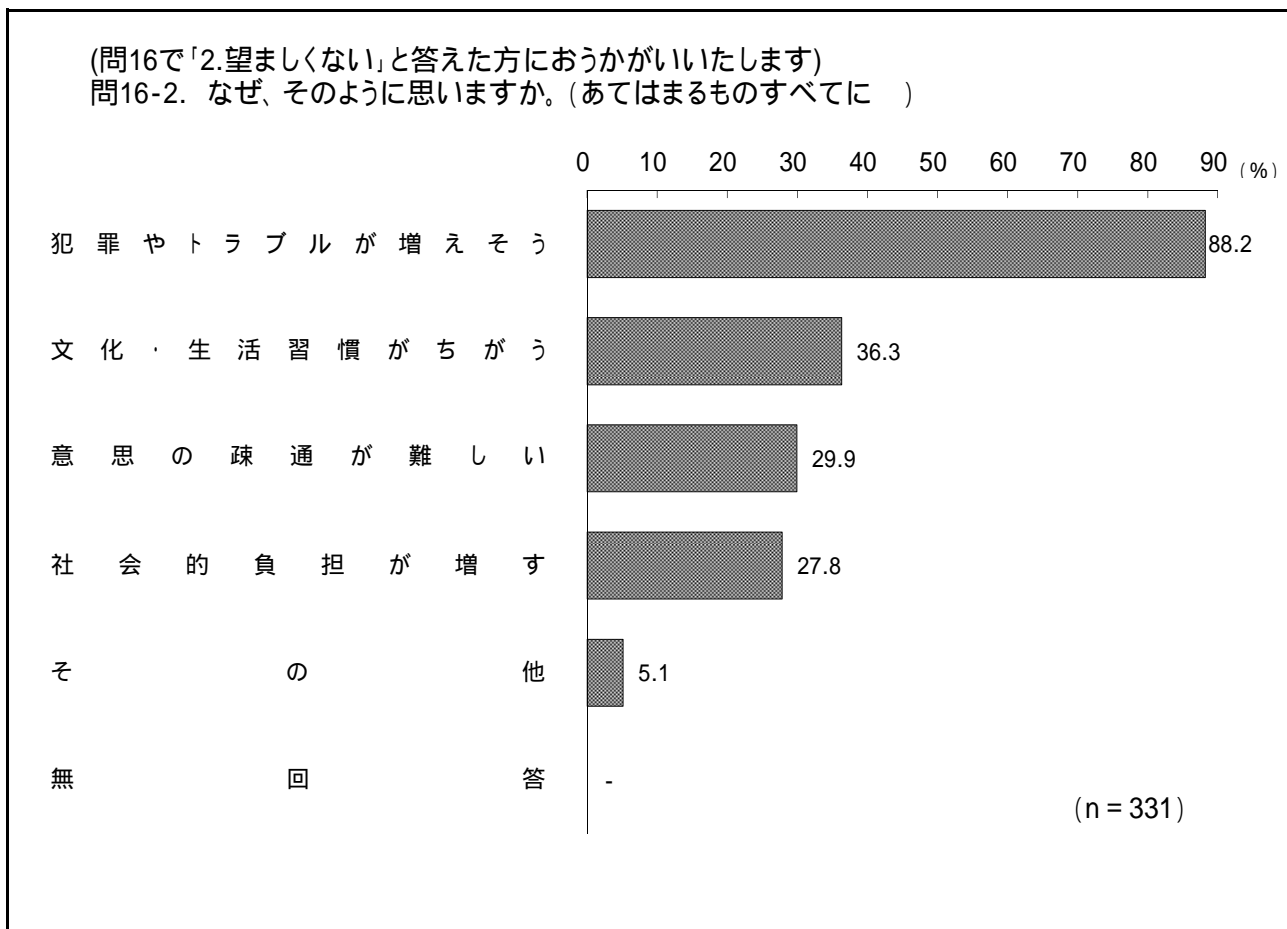
全体で第1位の「外国の言葉・習慣・文化を知る機会が増える」は、男女でも第1位であるが、女性の方が15.4ポイント多い。第2位の「外国との交流が深まる」は、男女ともほぼ同率である。第3位の「外国の人と接する機会が増える」は、女性の方が9.5ポイント多い。第4位の「経済的な発展につながる」は男性の方が8.3ポイント多い。

(問16で「1.望ましい」と答えた方におうかがいいたします)
 問16-1. なぜ、そのように思いますか。(あてはまるものすべてに)



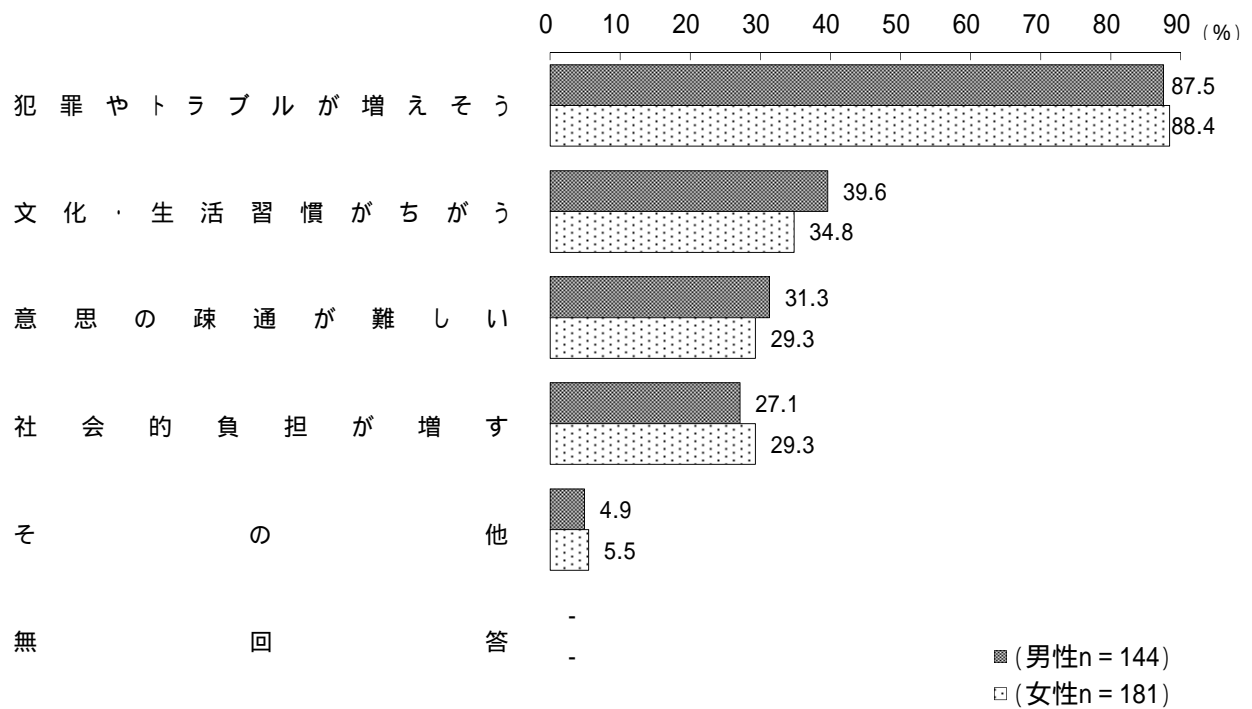
(7)外国人の増加が望ましくない理由について

「犯罪やトラブルが増えそう」が断然多い



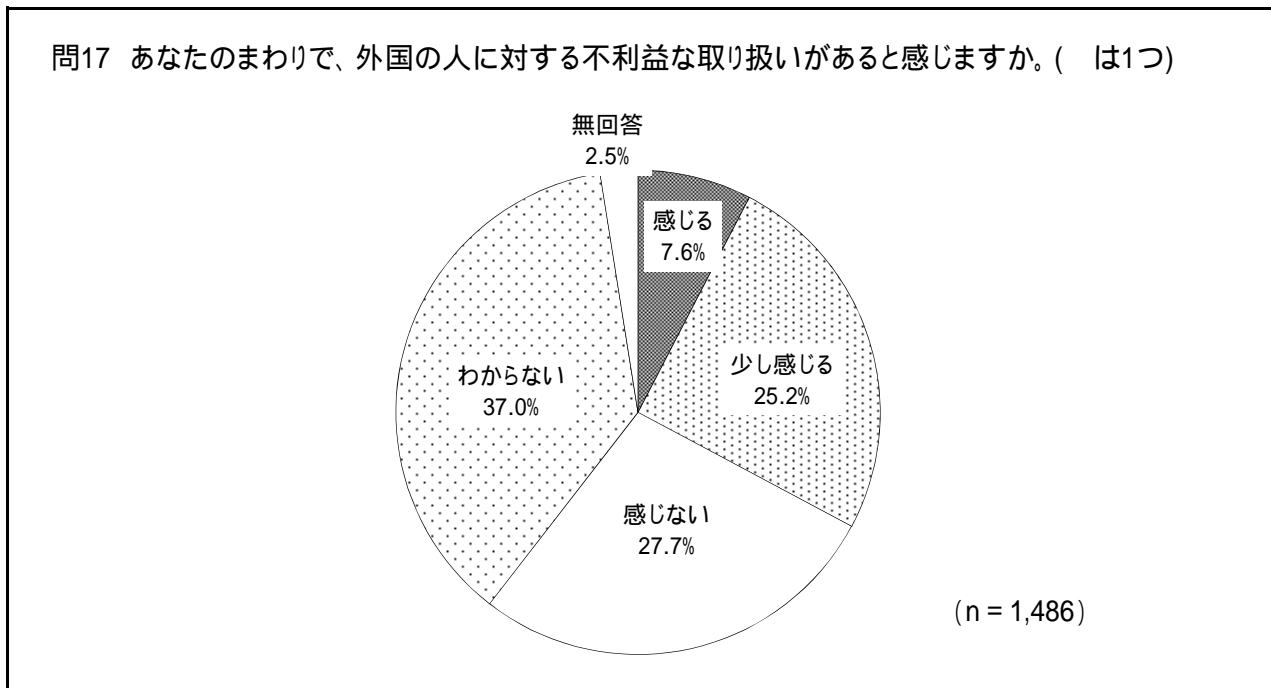
望ましくない理由については「犯罪やトラブルが増えそう」が断然多く、全体、男女とも同じ傾向である。

(問16で「2.望ましくない」と答えた方におうかがいたします)
 問16-2. なぜ、そのように思いますか。(あてはまるものすべてに)



(8) 外国人に対する不利益な取り扱いについて

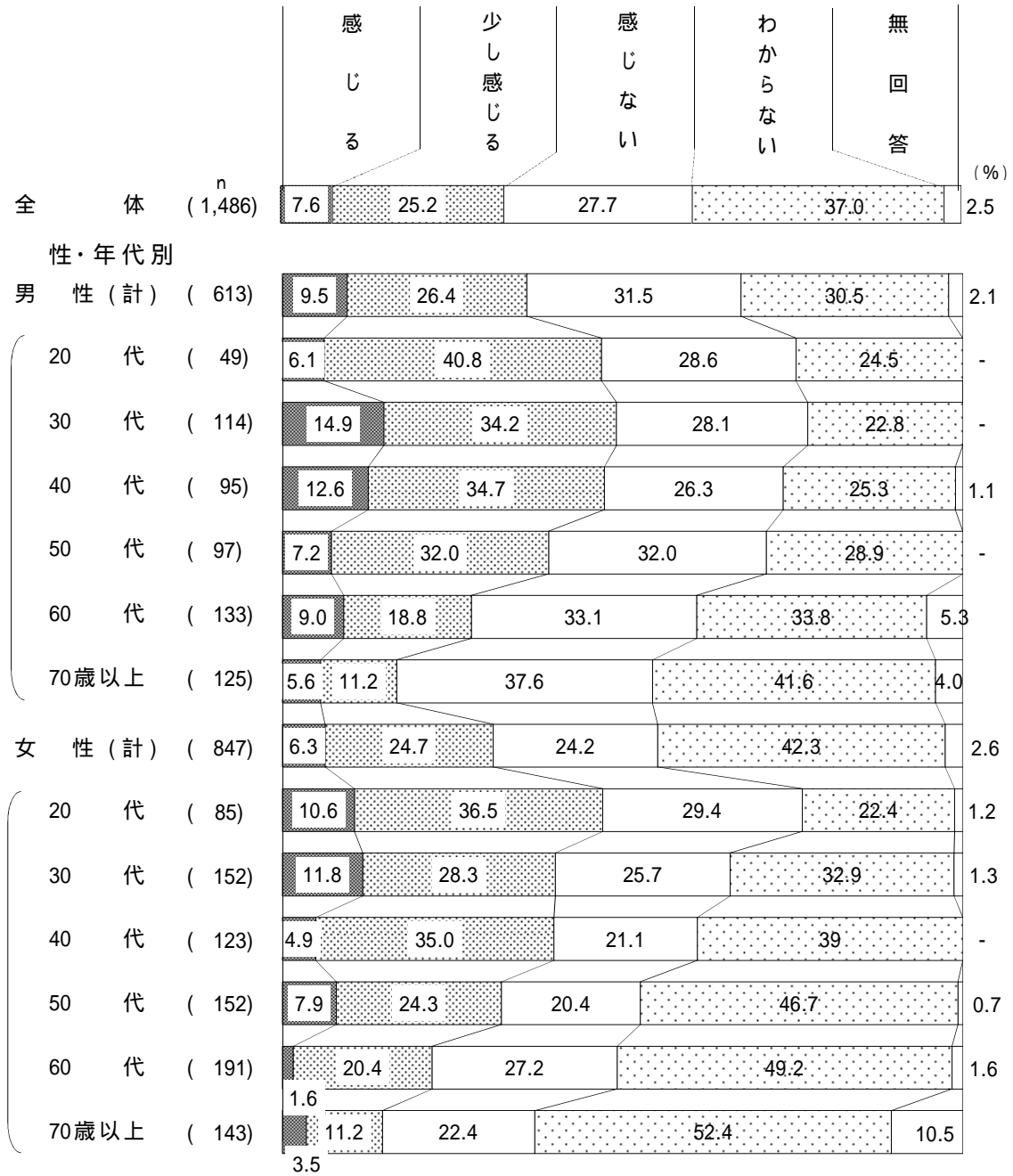
《感じる》合計は32.8%で、全体の約1/3



《感じる》(32.8%)「感じない」(27.7%)、「わからない」(37.0%)とおよそ1/3ずつに分かれている。

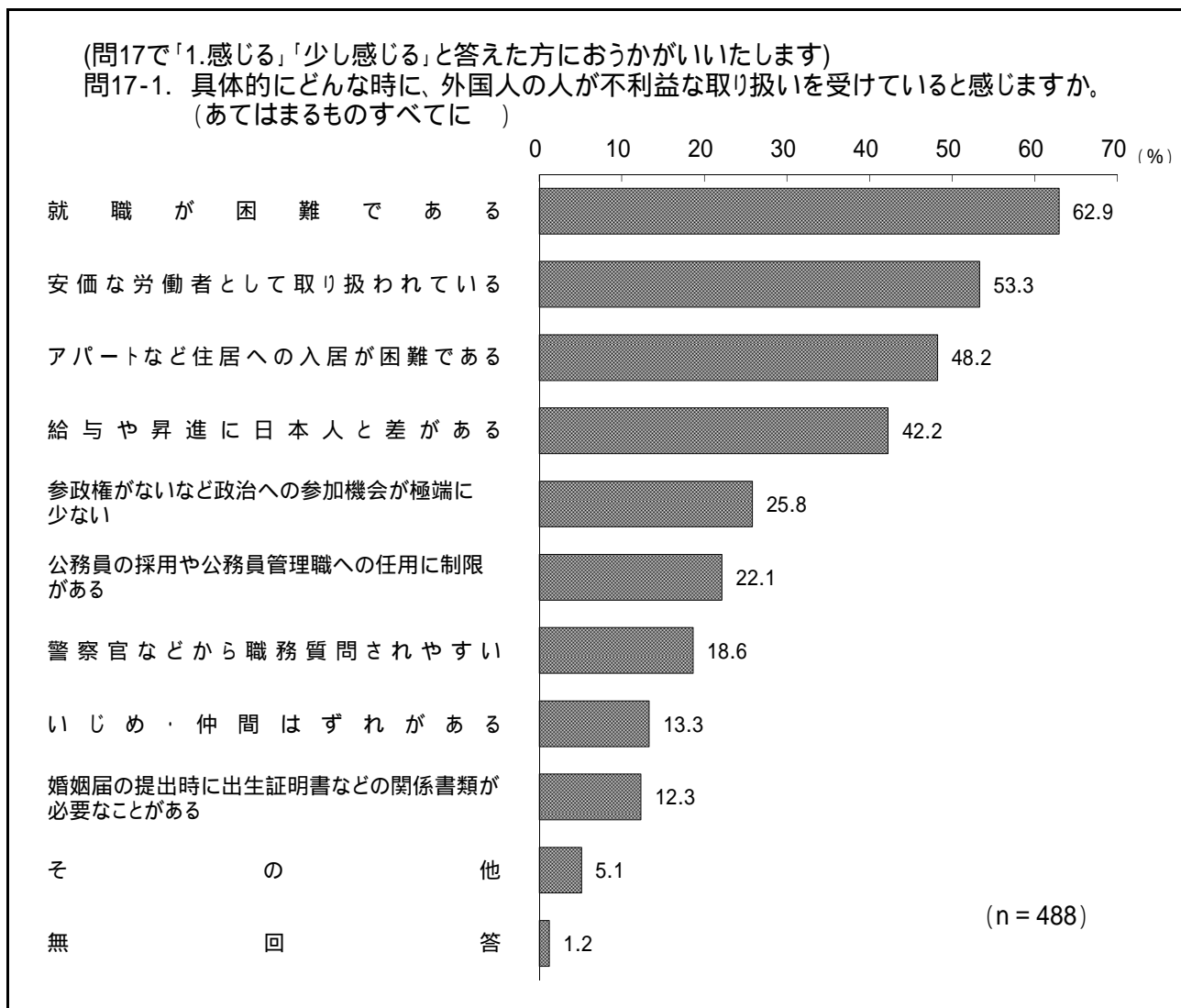
性・年代別にみると図3-8-1のとおりである。《感じる》が40%台は男性20代、30代、40代、女性20代、30代である。それ以降の年代は40%以下である。

図3-8-1 外国人に対する不利益な取り扱いについて(性・年代別)



(9) 外国人に対する不利益な取り扱い内容

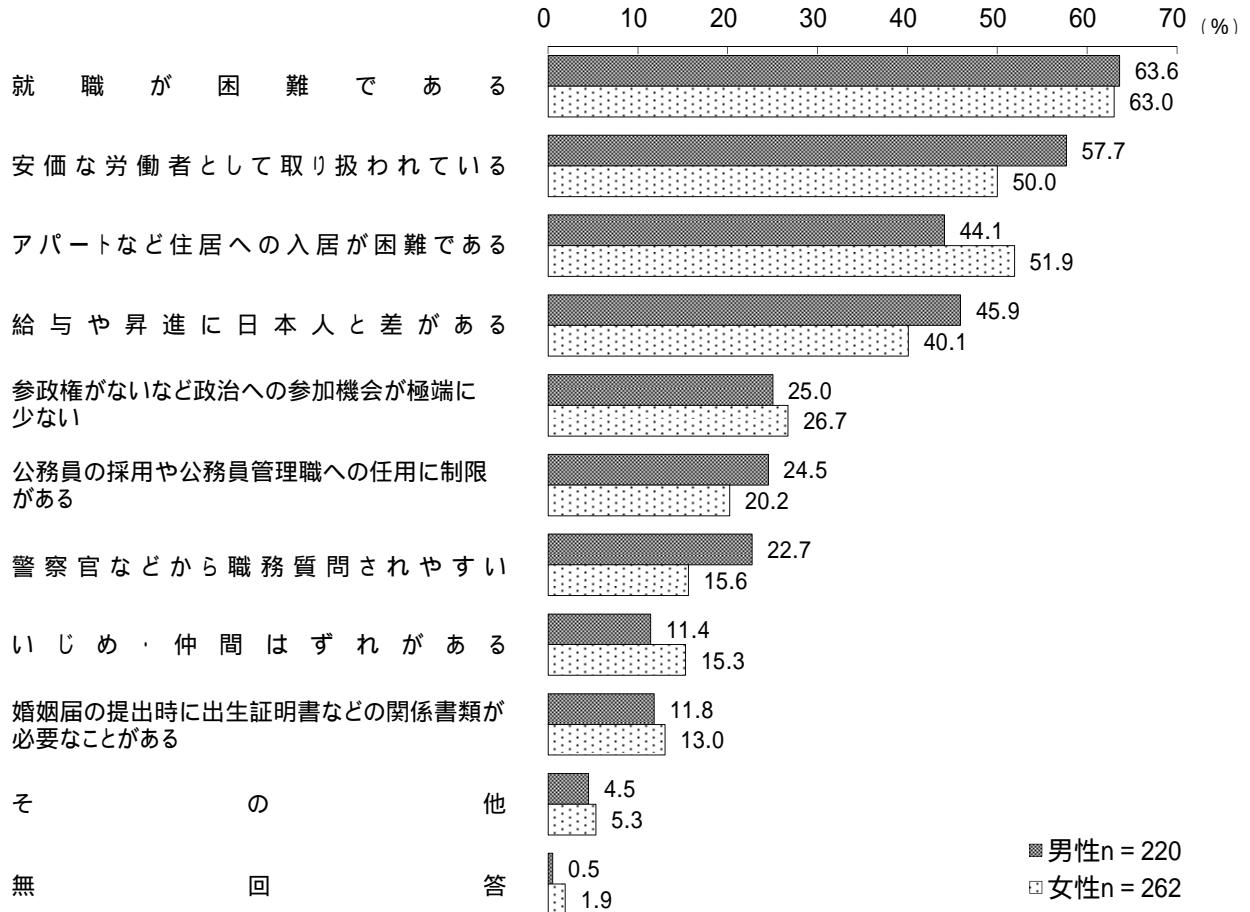
「就職が困難である」が最も多く60%強である



全体で第1位の「就職が困難である」は男女とも第1位でほぼ同率である。全体で第2位の「安価な労働者として取り扱われている」は男女の比較では、男性の方が7.7ポイント多い。全体で第3位の「アパートなど住居への入居が困難である」は女性の方が7.8ポイント多い。

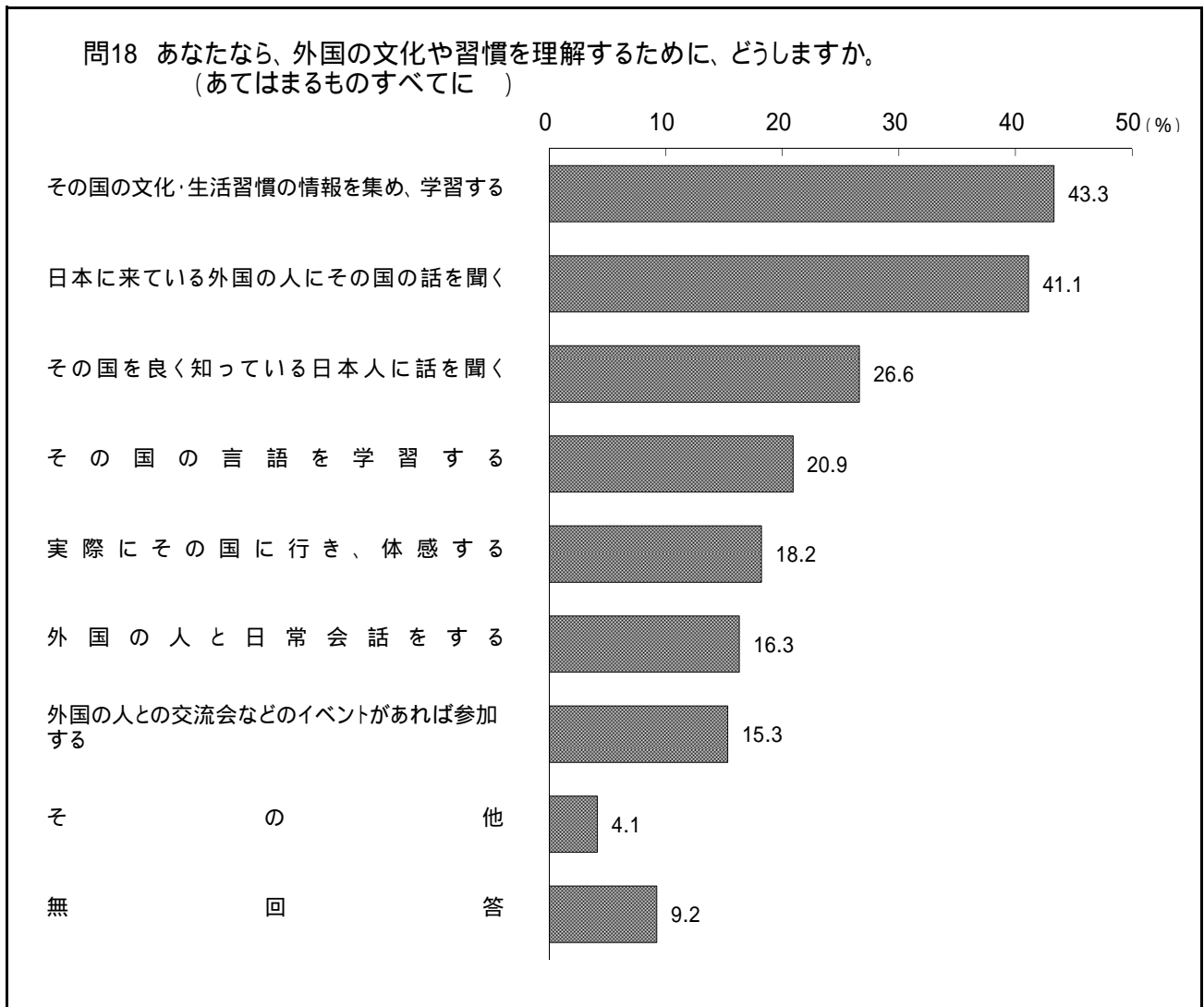
(問17で「1.感じる」「少し感じる」と答えた方におうかがいたします)

問17-1. 具体的にどんな時に、外国人の人が不利益な取り扱いを受けていると感じますか。
(あてはまるものすべてに)



(10)外国人の文化や習慣を理解する方法

「外国の文化の学習」や「在日外国人の話聞く」が中心



性・年代別をみると図3-10-1のとおりである。各々の方法の中で最も高く50%台を示しているのは、「その国の文化・生活習慣の情報を集め、学習する」で女性20代、男女30代、40代である。また「日本に来ている外国人にその話を聞く」で男女30代、女性40代である。

図3-10-1 外国人の文化や習慣を理解する方法(性・年代別)

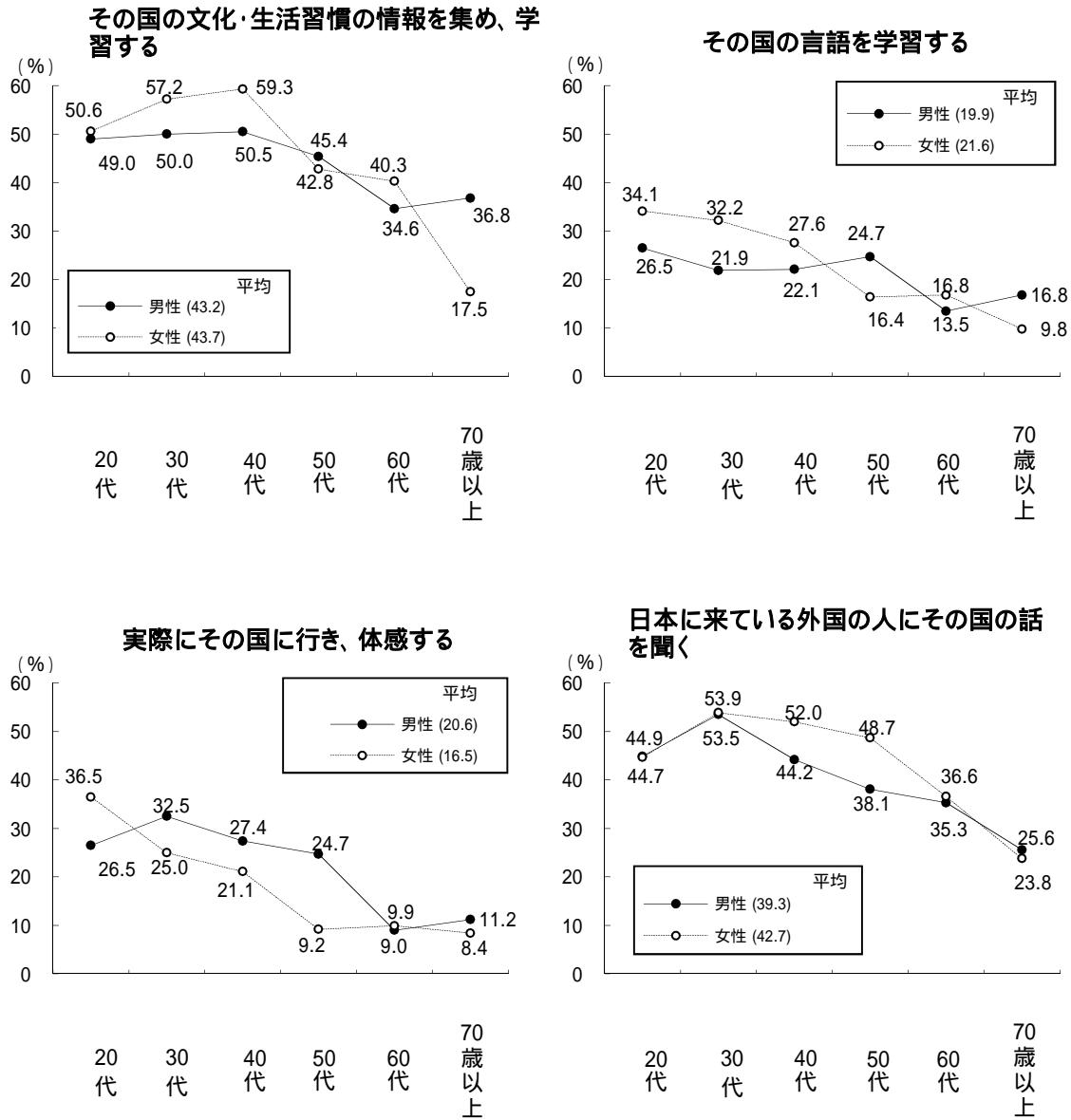
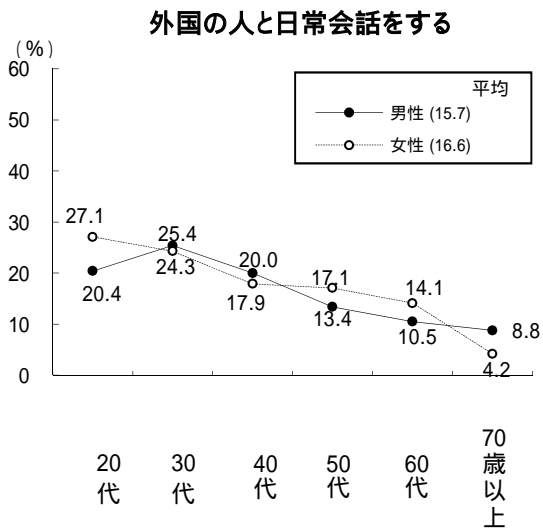
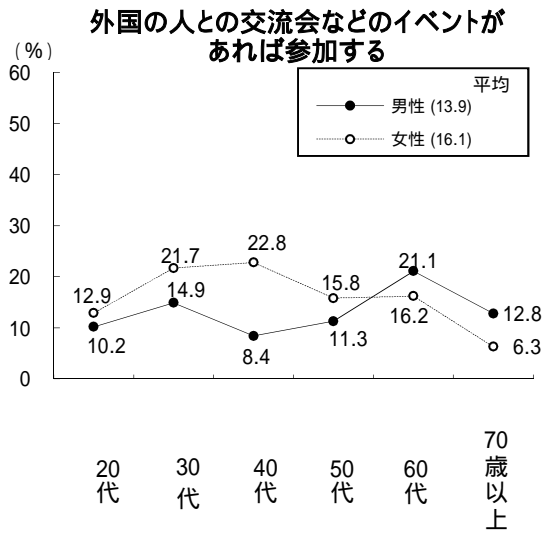
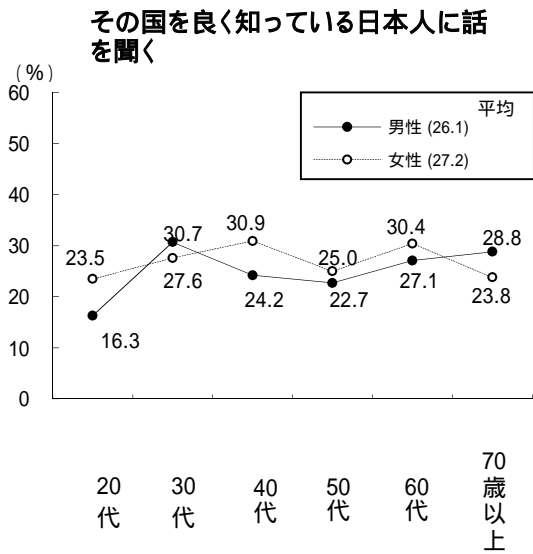
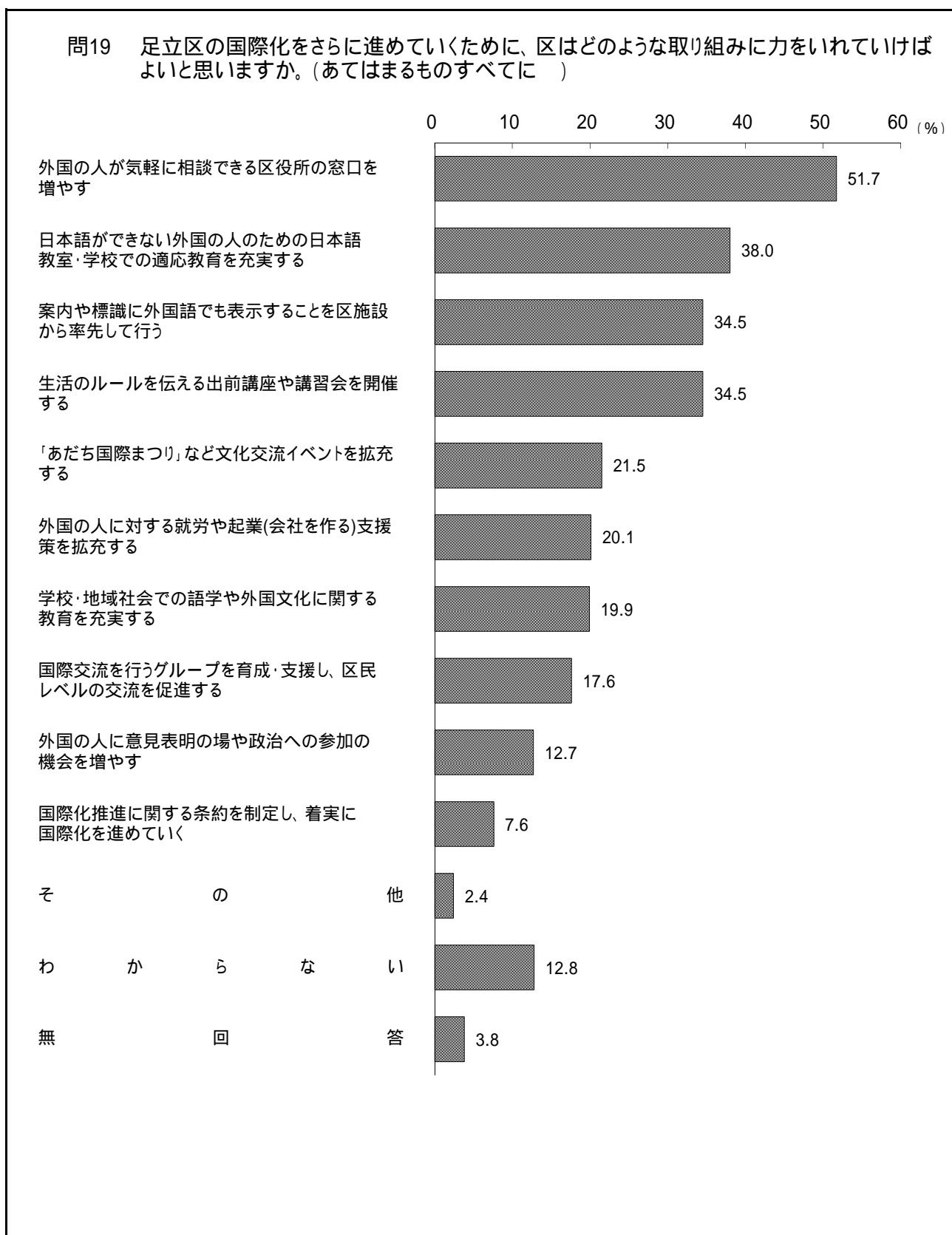


図 3 - 10 - 1 外国人の文化や習慣を理解する方法(性・年代別) - つづき -



(11) 国際化を進めていくための区の取り組み

「外国の人が気軽に相談できる区役所の窓口を増やす」が最も多く51.7%



「外国の人が気軽に相談できる区役所の窓口を増やす」が最も多く51.7%である。

性・年代別をみると図3-11-1のとおりである。各取り組みで50%以上を示しているのは「外国の人が気軽に相談できる区役所の窓口を増やす」で女性60代、70歳以上を除く、全ての年代である。他に「生活のルールを伝える出前講座や講習会を開催する」が女性40代で51.2%である。

図3-11-1 国際化を進めていくための区の取り組み(性・年代別)

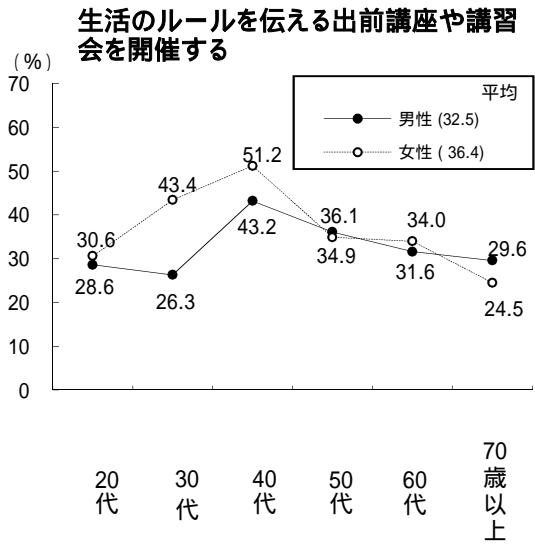
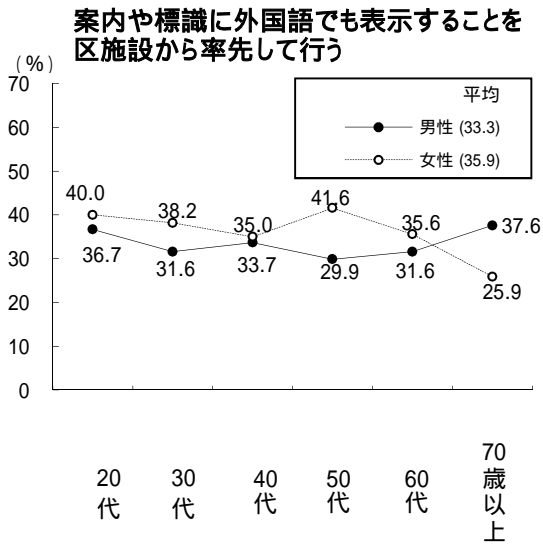
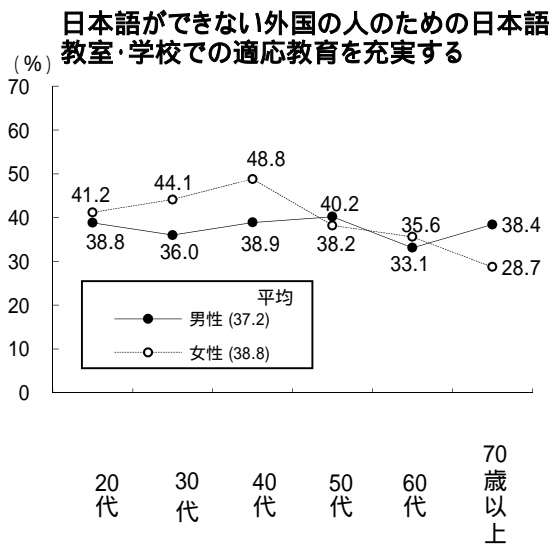
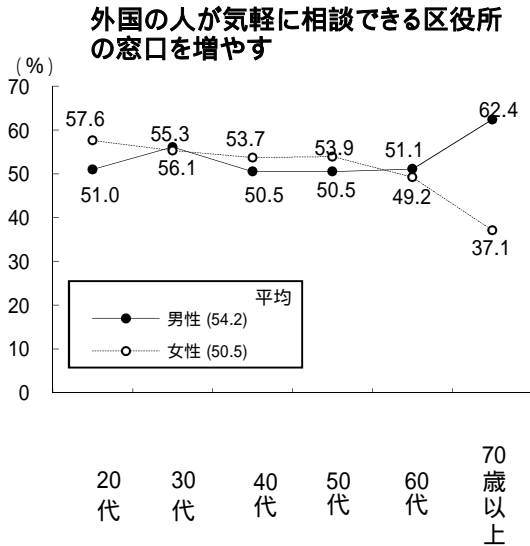


図 3 - 11 - 1 国際化を進めていくための区の取り組み(性・年代別) - つづき

